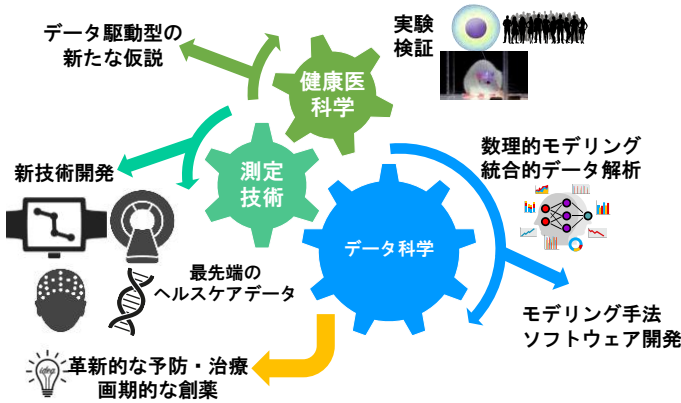


大学院における情報科学の研究と教育

2020年4月から始まった大学院の新体制では、情報科学に関する教育と研究を「ヘルスケア情報科学」として大学院に組み入れた、保健学系の大学院として革新的な内容を含んでいます。医療医学系と情報学系の共同研究や医工連携のプロジェクトは珍しくありませんが、それらはそれぞれ別の分野の人材が協働する形式です。来るべき情報化社会における医療の研究では、情報科学の知識や技術が、現在よりさらに必須化・一般化するものと考え、私たちは、大学院教育の段階で専門領域の研究者が情報科学の研究基盤技術を修得できるよう支援していきます。

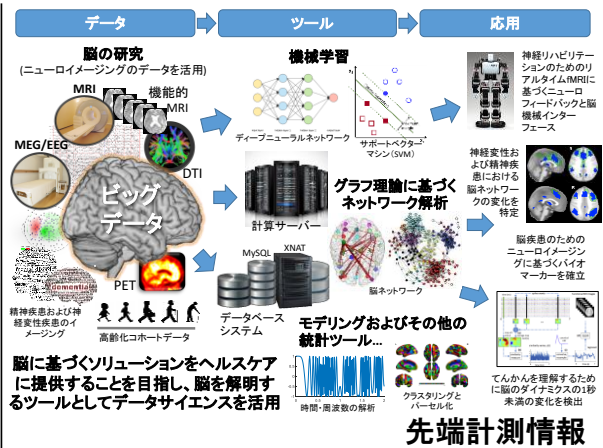
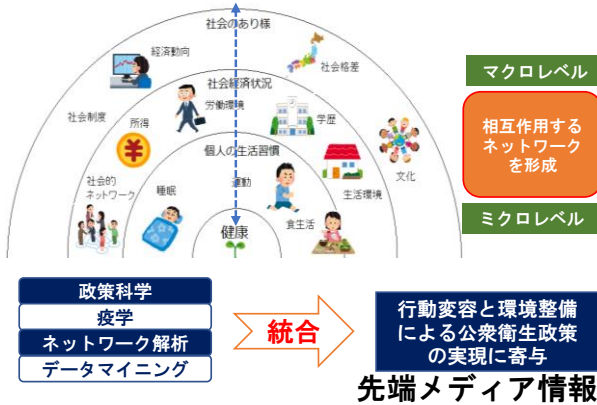
ヘルスケア情報科学の特徴

データ科学を駆使した学際的な健康医学を開拓



ヘルスケア情報科学には4つの研究室（生命人間情報健康医療学，実社会情報健康医療学，先端計測情報健康医療学，先端メディア情報健康医療学）があり，それぞれ得意な情報科学解析技術をもって保健医療領域の研究を推進していきます。

健康の決定因子の階層的構造を解明する



医療保健ビッグデータを用いた疾患発症の予兆発見



多元的な生命情報に基づくヘルスケア



総合保健学専攻では、情報科学リテラシ教育科目をどの学位コースの学生も共通科目として受講することができます。

どの学位の取得を目指す方でも、どのような研究領域の方でも、各学位・領域の専門性を生かしつつ、ヘルスケア情報科学の指導教員のもとで情報科学の手法や技術を用いた学位研究を行うことができます。大学院受験に際してヘルスケア情報科学の教員を予定指導教員に希望する場合には、取得を目指す学位（学位コース）の履修内容と研究課題や手法について、予定指導教員や関連領域の教員と事前によく相談をしてください。また、その他の学生からも各自の研究に関連した情報科学の技術や分析手法等についての質問や相談を受けています。

これまでの医療保健領域の研究に新たな情報科学技術を加え、次世代の情報化社会における問題解決を目指す先進的研究を推進する、これまでにない研究教育体制を目指します。